

第1回「関西スポーツ応援企業表彰」の受賞企業決定について

関西広域連合・関西経済連合会では、従業員のスポーツ活動の促進に向けた取り組みやスポーツ分野における社会貢献活動等を通じ、スポーツ振興や地域経済活性化に貢献している企業等を「関西スポーツ応援企業」として表彰し、広く周知することにより、企業におけるスポーツ活動を推進するとともに、スポーツへの参加に対する社会的機運の醸成を図り、「生涯スポーツ先進地域関西」の実現を目指しています。

この度、関西圏域内の企業から優れた取り組みを募集し、特に優れた取り組みを第1回「関西スポーツ応援企業大賞」「スポーツ振興賞」「地域振興賞」「健康経営賞」「特別賞」として、下記のとおり決定いたしました。受賞企業の概要および受賞理由は別紙のとおりです。

記

- ＜大 賞＞ 株式会社ミキハウス
- ＜スポーツ振興賞＞ 関西エアポート株式会社
- ＜地域振興賞＞ 株式会社平和堂
- ＜健康経営賞＞ 株式会社堀場製作所
- ＜特 別 賞＞ 株式会社カスタネット

※受賞企業の概要と受賞理由、各賞の評価の視点、選考委員については別紙を参照ください。

以 上

大賞 (株)ミキハウス

本社：大阪府八尾市 事業内容：子供服やファミリー関連商品の企画・製造・販売等

【授賞理由】

- 創業以来、30年以上にわたり、個人競技種目を中心にスポーツ選手が競技に専念できる環境を支援し、野村忠宏(柔道)、福原愛(卓球)、羽根田卓也(カヌー)等オリンピックを継続的に輩出してきた。
- 現在も柔道、競泳、卓球をはじめ、カヌー、アーチェリー、セーリング、空手、テコンドー、テニス、体操、レスリング、飛込、アーティスティックスイミングなど多岐にわたる競技分野で30名を超える選手を支援している。
- 1998年にミキハウスジュニアスポーツクラブを設立し、ジュニアアスリートを育成。次世代のトップアスリート育成にも注力している。
- トップアスリートの東京一極集中が進む中、大阪に留まれる環境を提供しているという観点から関西のスポーツ振興への貢献度も高い。

スポーツ振興賞 関西エアポート(株)

本社：大阪府泉佐野市 事業内容：関西国際空港、大阪国際空港、神戸空港を運営

【授賞理由】

- 関西国際空港開港10周年を記念し2004年にKIX国際交流ドラゴンボート大会を開催。以来、10年以上にわたり、大会を通じたスポーツ活動を促進している。
- 大会には地域住民や社員のみならず、海外チームや国内有力チームを招聘し、競技面の向上を図り、現在では日本三大ドラゴンボート大会の1つに数えられる、国内最大級の大会に成長。
- 関西エアポート社からもグループ企業を含め、10チーム程度が参加している。また、企業トップをはじめ幹部も大会に出場するなど、全社的な事業として取り組んでいる。

地域振興賞 (株)平和堂

本社：滋賀県彦根市 事業内容：食料品・衣料品・住居関連品等の小売り店舗を滋賀県中心に展開

【授賞理由】

- 1972年から滋賀で平和堂ママさんバレーボール大会を、また、1985年から平和堂カップ福井綱引大会を継続して開催するなど、子どもからシニアまで幅広い地域住民が気軽にスポーツに親しむ機会の創出、継続に貢献している。
- ママさんバレーボール大会では、出場選手が良く利用する店舗にチームの応援ポスターを掲示するなど、本社のCSR・営業企画担当部署だけでなく、全社的に地域のスポーツが盛り上がるような工夫を実施。
- スポンサーとして費用負担で協力するだけでなく、社員も大会への出場や盛り上げに参画することで、顧客でもある地域住民との交流を深め、地域に親しまれる企業という意識の醸成にも寄与している。

健康経営賞 (株)堀場製作所

本社：京都府京都市 事業内容：分析・計測機器の総合メーカー

【授賞理由】

- 2012年に経営トップが「こころとからだの健康づくり宣言」を示し、従業員や組織の健康管理、健康管理活動に取り組んでいる。
- 従業員個人の健康管理として、従業員が任意で自らテーマを設定し、健康づくりを行う「ヘルスアップチャレンジ」を実施し、従業員が主体的に取り組める環境を整備しているほか、経営層から一般社員まで全員が参加する運動会を開催し、組織の健康維持を進めている。
- 地元プロスポーツチームやアスリート/パラアスリート支援にも取り組んでいる。

特別賞 (株)カスタネット

本社：京都府京都市 事業内容：オフィス家具・オフィス消耗品、防災用品等の小売

【授賞理由】

- 企業理念に基づき、創業時(2001年)より日本パラアーティスティックスイミングフェスティバルへの協賛を開始。以後、全国車いす駅伝競走大会に加え、全京都障害者総合スポーツ大会など地元で開催される各種障害者スポーツ大会の支援に継続的に取り組んでいる。
- 特に支援を継続することに注力しており、今後数年間の支援予定について、先方事務局に通知するなど計画的に取り組んでいる。従業員数は10名。企業規模に関わらずCSRに取り組む企業の良きモデルとなっている。

【参考1：各賞の評価の視点】

スポーツ振興賞	スポーツ振興への取り組みを評価。特に継続性や独自性、参加者数を優位に評価する。
地域振興賞	スポーツを通じた地域貢献への取り組みを評価。特に取り組みの継続性や独自性を優位に評価する。
健康経営賞	自社社員の健康増進のためにスポーツの実施促進への取り組みを評価。特に取り組みの継続性や独自性、参加者数または社内への浸透度合いを優位に評価する。
特別賞	大賞と上記3賞以外の企業から、「特徴のある取り組み」を評価。特に企業規模が小さい企業を優位に評価する。

【参考2：選考委員】 (委員は氏名五十音順)

- 委員長 山口 泰雄 (流通科学大学特任教授、神戸大学名誉教授)
- 委員 伊坂 忠夫 (大学スポーツコンソーシアム KANSAI 会長、立命館大学副学長・スポーツ健康科学部教授)
- 委員 和泉 秀樹 (関西広域連合スポーツ部長)
- 委員 奥野 史子 (アスリートネットワーク副理事長、バルセロナオリンピック アーティスティックスイミング ソロ・デュエット銅メダリスト)
- 委員 佐藤 廣士 (関西経済連合会スポーツ振興委員長)
- 委員 中塚 則男 (WMG2021 関西組織委員会事務局長)
- 委員 柳本 晶一 (アスリートネットワーク理事長、アテネ・北京オリンピック全日本女子バレーボールチーム監督)

以上